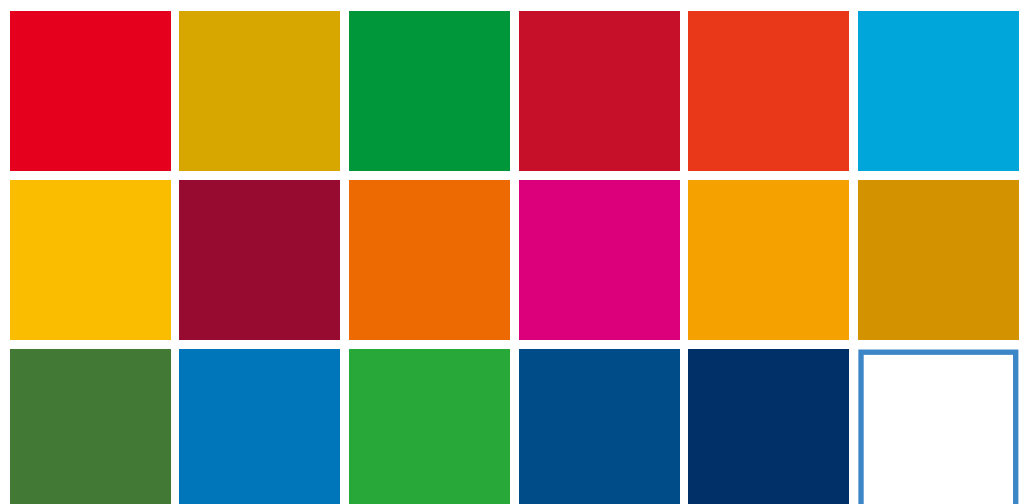


福井県民生活協同組合

サステナビリティレポート
2018



ごあいさつ



理事長
竹生 正人

2017年度は、県民せいきょう第9次中期計画(2015年～2020年)の中間年でしたが、事業高は前年に続き過去最高となり、ビジョン実現に向けて着実な前進を図ることができました。

2018年度は、県民せいきょうにとって創立40周年という大きな節目の年になります。これまで応援いただいた組合員や地域の皆さまに感謝するとともに、ネクスト・ステージに向けて果敢に挑戦する年にしたいと考えます。南越前町と提携しての地域活性化に向けた新しい店舗モデル(地域コミュニティー体型店舗)づくり、JA福井県経済連と提携しての食品加工センター(県内の農作物を生かしたお惣菜・お弁当の製造工場)の稼働、県内10店舗目となるハーツ神中店の開設、そして創立40周年を祝う様々な記念事業などに取り組みます。さらには、秋に開催される福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会のオフィシャルサポーターとして応援してまいります。

2018年度も、「組合員の満足と地域社会のために」役職員一同まい進する所存です。

理念・ビジョン

第9次中期計画 (2015年～2020年)

理念

組合員の満足と地域社会のために

スローガン

「感謝と挑戦」

目指す理想的な姿

「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で高い志を持って挑戦し続ける

使命

食の安全とくらしの安心で組合員へのお役立ち

大切にしたい組合員価値

「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

組織概要

■事業概要 (2018年4月現在)

宅配事業(配送センター:4 嶺北センター、丹南センター、敦賀支所、若狭支所)
店舗事業(店舗:9 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツさばえ、ハーツたけふ、ハーツつるが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ)
生活支援事業(移動販売車:13 第1地区本部5台、第2地区本部4台、第3地区本部4台)
高齢者介護事業(介護事業所:12 坂井きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、岡保きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、小浜きらめき、鮎川サテライト)
子育て支援事業(子育て支援施設:9 きっずはるえ、きっず羽水、きっず学園、きっず志比口、きっずさばえ、きっずたけふ、湊児童クラブ、日之出児童クラブ、啓蒙児童クラブ)

共済事業

■職員数 (2017年度末)

1,613名
(正規職員253名、キャリア職員89名
定時職員610名、N職員144名
アルバイト職員517名)

■グループ会社

エルシーコープ株式会社
株式会社コープサービス福井
ふくいレインボーファーム株式会社
株式会社ケア・サービス・アイ
コンビニハーツ株式会社

■関係団体

日本生活協同組合連合会
日本コープ共済生活協同組合連合会
福井県生活協同組合連合会
一般社団法人ほのぼのハーツ
公益社団法人 ふくい・くらしの研究所
福井虹の会
福井県産直協議会

福井県民生協概要

事業報告

2017年度実績

	実績	前年比	
組合員数	153,137人	101.9%	
出資金	93億63万円	102.0%	
総事業高	235億8,308万円	101.0%	
事業高	宅配事業	117億5,565万円 98.3%	
	店舗事業	96億1,791万円 103.4%	
	福祉事業	介護福祉事業	18億6,432万円 106.9%
		子育て支援事業	1億2,616万円 106.7%
共済事業	2億1,903万円 98.4%		
共済保有件数*	69,608件	96.4%	
経常剰余金	1億9,285万円	63.7%	

2018年度計画

	実績	前年比	
組合員数	156,000人	101.9%	
出資金	93億7,000万円	100.7%	
総事業高	246億3,900万円	104.5%	
事業高	宅配事業	122億1,200万円 103.9%	
	店舗事業	100億7,600万円 104.8%	
	福祉事業	介護福祉事業	20億500万円 107.5%
		子育て支援事業	1億2,900万円 102.3%
共済事業	2億1,700万円 99.1%		
共済保有件数*	70,000件	100.6%	
経常剰余金	1億4,000万円	72.6%	

※1万円未満は切り捨てています。
※共済の保有件数は、たすけあい・あいがらす・ずつとあい(終身)の合計です。

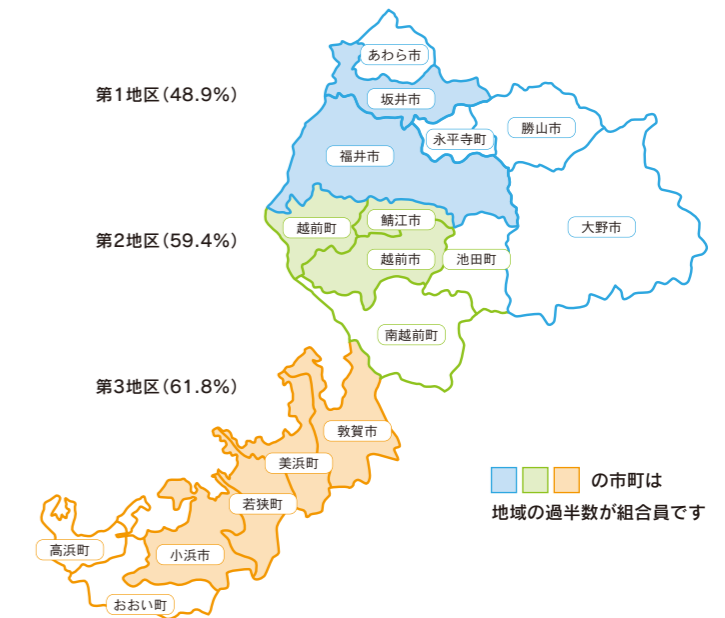
市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が53.8%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町では、地域の過半数(2世帯に1世帯)の方が加入されています。

	組合員数	世帯数	加入率
福井県 全体	153,137人	284,464世帯	53.8%
福井市	53,385人	102,011世帯	52.3%
あわら市	3,739人	9,784世帯	38.2%
坂井市	15,769人	30,167世帯	52.3%
大野市	3,668人	10,696世帯	34.3%
勝山市	2,456人	7,614世帯	32.3%
永平寺町	2,855人	7,280世帯	39.2%
第1地区計	81,872人	167,552世帯	48.9%

	組合員数	世帯数	加入率
鯖江市	15,760人	23,291世帯	67.7%
越前市	15,628人	28,816世帯	54.2%
越前町	3,906人	6,506世帯	60.0%
池田町	403人	862世帯	46.8%
南越前町	1,629人	3,330世帯	48.9%
第2地区計	37,326人	62,805世帯	59.4%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	16,528人	26,757世帯	61.8%
小浜市	7,235人	11,270世帯	64.2%
美浜町	2,437人	3,857世帯	63.2%
若狭町	4,233人	4,785世帯	88.5%
おおい町	1,552人	3,198世帯	48.5%
高浜町	1,454人	4,240世帯	34.3%
第3地区計	33,439人	54,107世帯	61.8%



※左記以外に県外在住の組合員が500人いらっしゃいます。
(組合員数(人):2018年 3月31日現在 世帯数(世帯):2018年 4月1日現在)

2018年度 役員

	氏名	備考		氏名	備考
常勤	代表理事 理事長	竹生 正人	非常勤	理事	田中 仁和 元県職員、薬剤師
		コープ共済連理事、コープ北陸事業連合 理事長 福井県生協連会長理事		坂野 靖子 第1地区/坂井エリア	
	代表理事 専務理事	松宮 幹雄		五島 典子 第1地区/坂井エリア	
		エルシーコープ代表取締役、ほのぼのハーツ代表理事 コンビニハーツ代表取締役		朝日 亮子 第1地区/奥越エリア	
常勤	常務理事	檜原 弘樹	塩島 いずみ 第1地区/福井エリア		
	常勤理事	中川 敦士	竹澤 裕美 第1地区/福井エリア		
	常勤理事	広辻 光生	山田 久美 第1地区/福井エリア		
	理事	小形 巧	吉田 克己 第2地区/丹南エリア		
非常勤		後藤 正邦	弁護士/高志法律事務所 代表	加賀谷 幸恵 第2地区/丹南エリア	
		伊藤 達彦	医師/福井県立すこやかシルバー病院 院長	松田 桃代 第3地区/敦賀エリア	
		今村 善孝	大電産業株式会社 代表取締役会長	藤原 真理 第3地区/若狭エリア	
		南保 勝	福井県立大学 地域経済研究所 所長・教授	中山 哲弥 公認会計士・税理士	
		森本 照美	元県職員	寺西 道江 第1地区/坂井・奥越エリア	
		小林 正能	福井県文化振興事業団 専務理事	森永 美保 第1地区/福井エリア	
		山本 道隆	株式会社福井新聞社 常務取締役 営業・事業担当営業局長	野 克代 第2地区/丹南エリア	
		斉藤 重範	福井県労働者福祉協議会 事務局長	浜本 良美 第3地区/敦賀・若狭エリア	

福井県民生協は SDGs (持続可能な開発目標) の達成のための取り組みを推進していきます

福井県民生協は、「組合員満足と地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsの目指す姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、福井県民生協が取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことを目指していきます。



SDGsってなに？

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称で、日本語では、「持続可能な開発目標」と表現されます。2015年9月国連において「今、貧困や飢餓の廃絶、地球環境の保全など国際社会が協力して2030年までに達成を目指す全世界が取り組むべき課題」として採択された目標で、これは発展途上国・先進国に関わらず、世界中全ての人々が目指すべきゴールです。「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指し、今現在世界で生きる人々だけでなく、何世代も先の人々が、この地球で人間らしく生活し続けられるために必要な17の目標が掲げられています。

[SDGs17の目標とロゴマーク]

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナースhipで目標を達成しよう



01

産直・地産地消

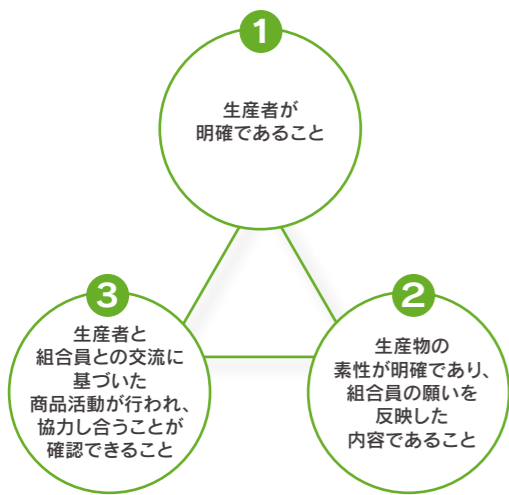
～地域と進める商品作り～



生協の産直は、食の安全を願う組合員を生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、「ともに育てあう」活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることを目指しています。

産直・地産地消

県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数

(福井県:64)
(県外 :15)



	16年度	17年度	前年比
産直比率(宅配)	32.4%	34.9%	107.7%
産直比率(店舗) ※農産	20.0%	19.9%	99.5%
地産比率	24.3%	19.7%	81.1%



▲コープ米ピュアの生産者

地産地消をすすめる協定

花咲ふくい農業協同組合と「地産地消をすすめる協定」を締結



2017年6月に、ハーツはるえにおいて、「地産地消をすすめる協定」の調印式を行いました。協定では、「協同組合間協同」の取り組みを通して、地域農業の活性化ならびに県内農産物の消費拡大につなげていくことを目指しています。

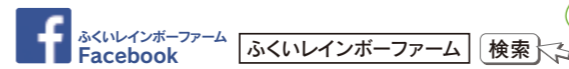
きららの丘コーナー▶

◀(写真右)花咲ふくい農業協同組合 富田 勇一代表理事組合長
(写真左)福井県民生活協同組合 竹生 正人理事長



02

ふくい レインボーファーム



農場の様子など
随時更新中!



～つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献～



「ふくいレインボーファーム」は、安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。現在、あわら市で露地園芸、敦賀市で水田園芸、施設園芸、みかん栽培を行っています。

農業体験や食育活動

新人職員や、店長研修、大学ゼミを通じた学習のほか、産直協議会など組合員活動での農業体験・見学の受け入れを行っています。また、レインボーファーム応援団を結成し、組合員の皆さんと共に農作業に取り組んでいます。

	16年度	17年度	前年比
レインボーファーム 応援団登録人数	40人	94人	235.0%



福井初 ギャップ グローバルGAP 個別認証を取得

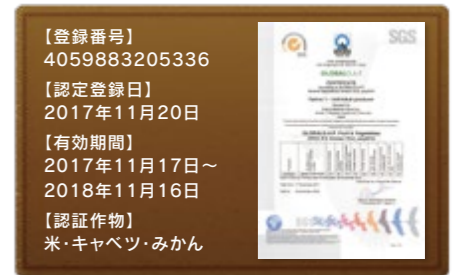
適切で効率的な農場管理を実践するための手法で以下の4つを柱として管理点が定められています。

- 1 安全な農作物の生産と出荷
- 2 作業者の労働安全と福祉の確保
- 3 信頼できる販売管理
- 4 環境へ配慮した生産活動

グローバルGAP認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する農業者に与えられる事業ブランドです。2017年11月に、福井県内の農業法人では初めて、キャベツ、みかん、米の3品目にてグローバルGAPの個別認証を取得しました。



2017年度の現地審査の様子▶



食品加工センターの整備

地産地消をさらに推進するために、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う、食品加工センターの整備を進め、2018年4月より稼働しました。



03

エシカル消費

～誰かの笑顔につながるお買物～



生協では、「地域」「社会」「環境」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買物」と表現して、積極的に対応しています。2017年度から、6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買物を推進しています。



6月エシカル消費「環境」月間

6月環境月間には、環境マークを集めるキャンペーンを実施し、組合員に、身近な商品が環境に配慮されている商品であることと、エシカルの考え方について紹介しました。

FSC® 森の資源を守る



FSCの認証を受けた商品は、森林を守る基準に沿って森林を管理し、その森林の木で作られた商品を森から家庭まで確実に届ける管理をしています。



コープティッシュ▶

レインフォレスト・アライアンス認証



地球環境保全のために熱帯雨林を維持することを目的としています。SAN(サステナブル・アグリカルチャー・ネットワーク:持続可能な農業ネットワーク)の定める基準に基づいて認証されます。



MSC認証(海のエコラベル)

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業でとれた水産製品です。



いのちの森商品 (KEEP THE GREEN マングローブ植樹活動)

インドネシア産ブラックタイガーの産地で、自然環境保全・持続可能な養殖事業を目指し、マングローブの植樹活動を行う取り組みです。



6月の環境月間にマングローブ植樹を応援する支援を行い、商品1点の購入につき1円を寄付しました。



もずく基金

サンゴ礁の再生をはかり、沖縄の海を守る

環境を守りまた循環型漁業を推進するために、沖縄県恩納村と「サンゴ植樹活動支援協定」を締結し、利用代金の一部を寄付に充て支援しています。



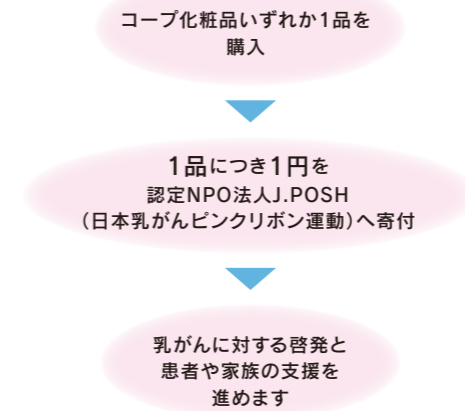
10月エシカル消費「社会貢献」月間

ピンクリボン運動



世界共通のピンクリボン月間である10月に合わせ、コープ化粧品で寄付を行いました

認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品の40周年を機にこのJ.POSHへの協賛を行いました。



ピンクリボンキャンペーンでは、職員と組合員に化粧品のマイスター「ビューティーアドバイザー」の育成を行い、職員・組合員30名が修了して登録を行いました。

CO-OP×レッドカップキャンペーン

対象の商品1品につき1円が、国連WFPを通じて飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を届けるために使われます。2017年度からカンボジア王国に支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及びカンボジア政府による自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



©WFP/David Longstreath

コアノンスマイルスクールプロジェクト

CO-OPコアノンロールシリーズ1パックの利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付をしています。「人を育てる」「知識を伝える」ことを目的に教師を育成したり、「設備を整える」ことを目的に安全な水の整備やトイレの設置を行っています。



■エシカル消費月間(環境月間)実績

単位(千円)

	宅配			店舗			全体		
	16年実績	17年実績	前年比	16年実績	17年実績	前年比	16年実績	17年実績	前年比
MSC 商品	872	1,424	163.3%	12	15	125.0%	884	1,439	162.8%
FSC 商品	4,132	5,357	129.6%	1,024	1,871	182.7%	5,156	7,228	140.2%
レインフォレスト・アライアンス	139	95	68.3%	34	77	226.5%	173	172	99.4%
CFP	1,011	2,614	258.6%	106	94	88.7%	1,117	2,708	242.4%
その他環境配慮商品	89	274	307.9%	200	648	324.0%	289	922	319.0%
対象商品合計供給高	6,243	9,764	156.4%	1,376	2,705	196.6%	7,619	12,469	163.7%

04

食の安全・安心 づくりの取り組み ～食の安全・安心～



商品取り扱いの基本的な考え方は、組合員に対し「良品質の商品を提供すること」です。生協のPB(プライベートブランド)商品である「コープ商品」「産直商品」だけでなく、NB(ナショナルブランド)商品や市場手配の農産物についても、仕様書や産地などを確認し、食品添加物使用基準にあった商品のみを取り扱っています。

- 1.安全であること
- 2.安心できる品質であること
- 3.適正価格であること
- 4.生鮮商品は新鮮であること
- 5.くらしの見直しやくらしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

コープ商品

日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

福井県民生協オリジナル商品

県民せいきょうが開発しているハーツオリジナル商品。

コープ北陸開発商品

北陸3件の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

コープこうべ開発商品(コープス)

コープこうべが開発しているコープ商品。

安全確認業務(商品検査)

組合員に安心して商品をご利用いただくために、CO・OPの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査、国が定めた17都県の生鮮品を中心とした放射能検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

2017年度検査数

検査項目	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 8,816品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・CO・OPの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 131品	・【産直】大三島のいよかん(愛媛県) ・【産直】長いも(青森県)など

項目	16年度実績	17年度実績	前年比
商品検査数	9,999件	9,002件	90.0%
工場点検数	259件	293件	113.1%

HACCP「福井県版HACCP(ハサップ)」の取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準どおり製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、きらめきにおいて「福井県版HACCP」認証を取得し、衛生管理レベルの向上に取り組んできました。2017年度は、ハーツ三方五湖店、勝山きらめき厨房においても「福井県版HACCP」の認証を取得しました。



ハーツ三方五湖店の認証取得

福井県版HACCP認証数	
ハーツ	9店舗
ハーツ生鮮加工センター	1施設
きらめき	11施設

カバー付きフードケース導入

衛生面から、ハーツさばえの惣菜バイキング売り場をカバー付きフードケースに変更しました。バイキング用のトングは2時間ごとに消毒交換、売り場の清掃を徹底し、衛生管理に努めています。



05

組合員の声

～組合員の声を活かす～



組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員からいただく「声」にもとづいた業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。組合員の声は、コールセンターで一元管理し、業務に反映させてきました。2017年度は13万1900件の声が集まりました。

	16年度実績	17年度実績	前年比
コールセンター	115,490件	121,341件	105.1%
ひとことメモ	2,400件	2,139件	89.1%
ハーツ私のこえ	525件	568件	108.2%
共済アンケート	1,156件	948件	82.0%
介護利用者の声	1,015件	1,133件	111.6%
子育て利用者の声	2,617件	3,589件	137.1%
地区・事業委員会の声	1,533件	1,030件	67.2%
総代通信おたより	59件	133件	225.4%
機関紙おたより	408件	339件	83.1%
その他	313件	680件	217.3%
合計	125,516件	131,900件	105.1%

	16年度実績	17年度実績	前年比
商品品質お申し出	3,719件	2,915件	78.4%
接客他お申し出	5,919件	6,933件	117.1%
良い声	4,842件	5,707件	117.9%
企画・品揃え要望	1,470件	1,268件	86.3%
意見要望	2,600件	2,281件	87.7%
問い合わせ	72,990件	83,335件	114.2%
地域の声	297件	226件	76.1%
その他	33,679件	29,235件	86.8%
合計	125,516件	131,900件	105.1%

組合員の声

お惣菜売り場のコロッケにカバーが無いので、衛生的によくないのでは。
→お惣菜売り場に、カバー付きフードケースをつけて衛生面で向上して組合員に喜ばれました。(ハーツさばえ店)

項目	16年度実績	17年度実績	前年比
商品品質お申し出発生率(宅配全体)	114ppm	90ppm	78.9%
商品品質お申し出発生率(宅配農産)	511ppm	367ppm	71.8%
商品品質お申し出発生率(店舗全体)	17ppm	14ppm	82.4%
商品品質お申し出発生率(店舗農産)	66ppm	56ppm	84.8%
お申し出満足度調査(5点満点)	4.1点	3.9点	95.1%

※ppm…100万分の1

総代会、地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を中心に、総代会と年2回の地区総代会議を開催し、方針や、日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回総代アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



総代アンケートの声

- ・南越前町への出店、神中店への取り組み評価・期待
- ・生活弱者へのサポートへの評価
- ・生協のサービスへの期待(高齢になった時)
- ・ボランティア活動について
- ・子育て世代に対するサポートへの感謝と期待
- ・40～50代ファミリー層へのサポートに関する期待
- ・チラシが多い(選択性を希望)
- ・食事宅配の改善(介護医療食の利便性、夕食弁当等)

これらの声は、総代の声として、方針などに展開していきます

ポイント制の導入

2017年度より組合員還元を、組合員から要望の高かった「ポイント制」に変更し、お買物をしてポイントを貯める楽しみにつながりました。ポイント制に移行したことで、特に若い世代の組合員の支持が高まりました。

06

介護事業・高齢者福祉

～あなたらしさいつまでも～



「あなたらしさいつまでも」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けられるように、介護保険サービスなどの高齢者支援サービスを行っています。



介護事業きらめき各サービス

サービス内容	施設数	サービス内容	施設数
居宅介護支援	9拠点	認知症対応型グループホーム	3拠点
デイサービス	6拠点	特定施設入居者生活介護(ケア付き有料老人ホーム)	2拠点
認知症対応型デイサービス	6拠点	サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホーム)	3拠点
ホームヘルプサービス	9拠点	福祉用具(レンタル・販売)・補聴器	12拠点
訪問看護サービス	1拠点	地域包括サブセンター	1拠点
小規模多機能型居宅介護	9拠点	介護タクシー	2拠点
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1拠点	障がい者自立支援	2拠点

2017年度には、敦賀市に本社を置く(株)ケア・サービス・アイを子会社化しました。中重度要介護者や認知症高齢者などの介護ニーズへの対応や、障がい児童の支援を通して、地域や組合員に貢献しました。

10の基本ケア

要介護高齢者の思いや身体状況に応じた適切なケアにより、尊厳と自分らしいくらしの実現を目指そうと、ケア標準10項目を定め、社会福祉法人協同福祉会の支援によりトレーナー育成と介護職員への研修開催、現場実務での実践を開始しました。利用者の住環境や施設環境、介護職員の在り方を整えることに加え、日常生活リハビリを取り入れることで、利用者の自立した生活を支援していきます。

10の基本ケア

1. 換気を行う
2. 床に足をつけて座る
3. トイレに座る
4. 温かい食事をする
5. 家庭浴に入る
6. 座って会話を(認知症ケア)
7. 町内にお出かけをする
8. 夢中になれることをする
9. ケア会議をする
10. ターミナルケアをする

認知症サポーター養成講座

職員や地域の方を対象に、認知症サポーター養成講座を開催し、配達中や店舗での来店対応に活かしています。

●認知症サポーター数 1,127人



07

地域見守り・助け合い

～みんなが安心して暮らせる地域づくり～



地域見守り協定

宅配など業務を通じて地域の高齢者や障がい者、子どもなどの見守り活動に取り組んでいます。2017年5月に坂井市、7月に高浜町、2018年3月に美浜町と協定を締結し、協定締結数は県内で15となりました。

地域見守り協定
15市町

あわら市・坂井市・福井市・大野市・勝山市・鯖江市・越前市・敦賀市・小浜市・越前町・南越前町・美浜町・若狭町・おおい町・高浜町

地域活性化包括連携協定

南越前町、株式会社ファミリーマート、南越前町商工会河野支部、南越前町河野観光協会との5者間で、南越前町への地域コミュニティ型店舗の出店に向けて2017年9月に「地域活性化包括連携協定」を締結しました。5者の資源を有効に活用した協同による活動を推進し、店舗を通して一層の地域活性化及び住民サービスの向上に資することを目的としています。2017年12月には、出店に向けて、南越前町、南越前町商工会、ふくいレインボーファームと生協で「コンビニハーツ株式会社」を設立しました。

子育て支援

子育て支援 ハーツきつず



ご家族の皆さんが「自分らしく」「安心」して子育てできる環境づくりに取り組み、保育士の資格を持ったスタッフが対応しています。親子ひろば、一時預り、曜日別保育の事業を行っています。2017年度は福井市内に3施設目となる啓蒙児童クラブを立ち上げました。

●ハーツきつず 6施設 ●ハーツきつず 児童クラブ 3施設

すくすく便

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や妊娠中の組合員、すまいるFカードをお持ちの組合員は個配手数料が無料になります。

●登録人数 12,268人

ハーツ子育てママ応援デイ

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や、妊娠中の組合員は毎週水曜日ポイント5倍になります。

●ハーツ子育てママ登録件数 7,264人



CO・OP共済

「たすけあい」「あいぶらす」「ずっとあい」

相互の助け合い、くらしの中の危険による損失を保障することを中心に、くらしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献を目指しています。お店の共済カウンターは気軽に立ち寄り、落ち着いた相談できるカウンターとなっています。2017年度は、<あいぶらす>プラチナ85が誕生し、65歳以降の保障を充実させて欲しいというプラチナ世代の組合員の声に応えました。また、個人賠償責任保険の改定を行い、最高保障額の引き上げ(1億円→3億円)を行いました。

共済実績

項目	16年度実績	17年度実績	前年比
共済保有件数	72,800件	69,608件	96.0%
共済加入率	23.7%	23.2%	97.9%

一生
保障

手術・入院
ケガ通院

我が家も
サポート



生活支援

～あなたの地域にハーツがやってくる～



普段の買物や食事作りに困っている方のために、移動店舗「ハーツ便」、食事宅配、買物代行「ハーツのおつかいさん」で食品やお弁当をお届けします。

移動店舗 ハーツ便

普段のお買物に不便を感じている組合員や地域の方に安全・安心な商品、新鮮な魚や野菜、お惣菜を販売しています。2017年度は三方五湖を拠点としたミニハーツ便を稼働し、移動店舗は全体で13台となりました。

大型車はグループで何人か集まっていたことが必要でしたが、小型車の導入を進め、おひとりでも利用いただけるようになりました。



	大型車	中型車	小型車	合計
ハーツ便2017年度末導入実績	2台	7台	4台	13台

	16年度	17年度	前年比
移動店舗拠点数	642箇所	808箇所	125.9%

買物代行「ハーツのおつかいさん」

“買物に行く時間や手段がない”との声にお応えする買物代行「ハーツのおつかいさん」。電話でご注文いただいた商品をハーツからお届けしています。



おつかいさん2017年度のべ利用人数	5,326人
--------------------	--------

←ご自宅までお届け

お買物バス

高齢の方や車での来店が困難な方などに、ワゴン車を運行

買物に行きたいけど手段がない方をご自宅から最寄りのハーツまで、無料で送迎する「お買物バス」。ハーツ各店では、週1回(月～金)ご自宅からハーツまで決まった時間に無料で送迎しています。全ての店舗でお買物バスの運行を行っています。

お買物バス台数	12台	お買物バス登録人数	627人
---------	-----	-----------	------



食事宅配「夕食宅配、介護食・医療食」

家庭的なバランスを考えた日替わりの食事をご自宅までお届けします。かむ力・飲み込む力が弱い方や食事制限が必要な方には介護食・医療食でお応えしています。



	16年度	17年度	前年比
夕食宅配弁当食数(週平均)	4,804食	4,867食	101.3%
介護・医療食食数(週平均)	1,661食	1,984食	119.0%

生協葬祭 みれい

真心・協心・安心

生協葬祭「みれい」は、ご利用される方にご満足いただけるよう、安心感の高いお世話をさせていただきます。

	16年度	17年度	前年比
みれいの会会員数	2,661人	2,683人	101.0%
葬儀年間施行件数	75件	95件	127.0%
葬祭事業シェア率	1.0%	1.3%	130.0%



2017年度にはプラチナ終活フェアを開催し、上野千鶴子氏の「おひとりさまの最期」の講習会や葬儀費用の学習会、エンディングノートの学習会や祭壇の展示、入棺体験を行いました。

ほのぼののハーツ(障がい者雇用)

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために

障がい者福祉サービス事業所(就労継続支援)として2012年7月に事業スタートしました。

主に県民せいきょうの事業所(支所・センター・ハーツ各店・生鮮加工センター)で、一般就労に近い環境の中、現在約100名の障がい者の支援員や障がい者の皆さんが生協関係職員と一緒に仕事をしています。

事業所名	ふくい事業所	たんなん事業所	さかい事業所	嶺南事業所
定員	40人	20人	20人	20人
開始日	2012年5月1日	2014年7月1日	2015年1月1日	2016年1月1日

法人理念

「誰もが、安心してくらせる地域社会を目指します」



きらめきくらしのサポート

あなたが…わたしが…「ちょっと困った、助けてほしい」という時にお互い助け合える、支え合える…そんな温かな心のふれあいを大切にしたい。

「きらめきくらしのサポート」は、くらしの中で困ったことがあれば、お互いに助け合って、安心できるくらしを守っていくという発想から生まれた仕組みです。きらめきくらしのサポートでのサービスは専門的な介護や看護ではなく、お掃除や食事作り、病院の付き添い、産前産後のお手伝いなどのちょっとしたお困りごとを支援しています。くらしのサポートを通して地域に温かな助け合いの心と助け合いの輪を広げています。



	16年度	17年度	前年比
サポーター登録数	170人	224人	131.8%
利用者登録数	215人	251人	116.7%
総活動時間	9,908h	11,067h	111.7%

09

組合員活動

～もっと広がれ組合員の輪～

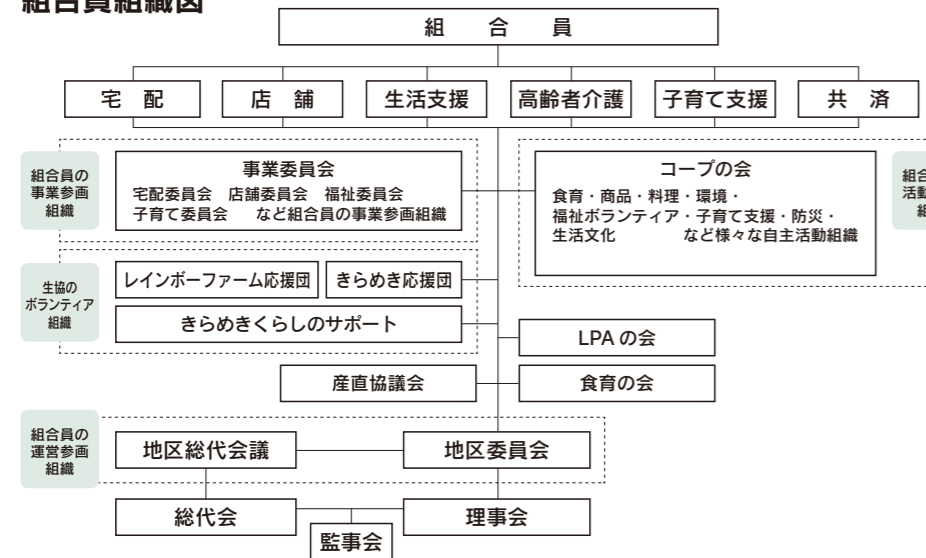


組合員同士が集まって取り組む商品学習や、食・環境・福祉などさまざまなテーマで行う活動を応援しています。地域やテーマに応じて地域のNPOや団体とも連携し、さまざまな活動が取り組まれています。

- ①一人では実現できない願いをみんなの活動で実現する活動(自主自発の活動)
- ②生協ファンを増やし生協の商品やサービスの良さを広げていく活動(事業を支える活動)
- ③地域の課題を地域の皆さまと一緒に解決していく活動(地域を支える活動)

組合員活動組織

組合員組織図



▲第3地区委員会 防災スリッパ作り



▲さばえ店舗委員会 試食会

LPAの会
くらしの見直し
学習会▶



福井
「なのはな会」▶



項目	16年度	17年度	前年比
運営参加人数	6,518人	5,781人	88.7%
活動参加人数	33,170人	21,883人	66.0%
コープの会数	30回	29回	96.7%

市民活動助成制度

2006年より「社会貢献基金」を創設し、県内で社会貢献活動に取り組むNPOや市民団体を応援。これまでにのべ130団体、750万円の支援を行っています。(第12回(2017年度)は15団体に対し総額95万円の助成を行いました)

活動拠点	団体名	活動分野	活動拠点	団体名	活動分野
坂井	NPO法人ゆめのたまごプロジェクト	福祉	丹南	さばえ・ロボット・クラブ Roboject	その他の社会貢献活動
福井	ボランティア朗読友の会	福祉	丹南	NPO法人フードバンクふくい	その他の社会貢献活動
福井	子育て支援NPOいないないばあ	子育て支援	丹南	ソフィアさばえ	その他の社会貢献活動
福井	ママサークル つばみ	子育て支援	敦賀	どんぐりの会	福祉
福井	ひまわりこども食堂	子育て支援	敦賀	敦ハバ	子育て支援
福井	親子体験サークル RACCON(らくーん)	子育て支援	敦賀	市民活動心えす実行委員会	その他の社会貢献活動
福井	ふくい市民共同発電所をつくる会	環境	敦賀	気山・上瀬地域づくり協議会	食育
福井	Yellow?	その他の社会貢献活動			

10

災害支援 BCP対策

～つながろう CO・OPアクション～



東日本大震災支援

被災地を支える

福島の子どものための保養活動を行う県内4つの団体(子ども144人)に食材支援を行いました。

ボランティア活動を支える

東北3県生協の仮設住宅で開催されたふれあいサロン活動に、福井のお菓子を贈りました(6月・12月・3月)。

被災地の現状を知る～忘れない取り組み～

組合員と職員が被災地を訪れ、復興の現状を学習しました。

みやぎ親子スタディツアー(7月)

名取市の仮設住宅への訪問、「閉上の記憶」で語り部さんから震災当時のお話を聞きました。



桜ライン植樹ツアー(11月)

桜の植樹にあわせて、岩手県陸前高田市の語り部釘子さんのお話と復興状況の視察、宮城県大川小学校跡地の視察などを行いました。



買って支える～被災地の商品利用で復興支援～

宅配や店舗ハーツで開発商品「**Flours** 岩手・田老産真崎わかめ」の普及に取り組みました。



支援募金使途状況 (2017年4月～2018年3月)

収入	金額	支出	金額
前期繰越金	2,344,449円	福島の子どもの保養事業食材支援(県内4団体・6回)	554,564円
宅配募金	31,100円	仮設住宅サロンお菓子支援(2回)	139,008円
店舗募金・祭り募金	89,602円	ボランティア活動(岩手県桜ライン311植樹)	480,078円
割戻し募金	3,260,167円	みやぎ親子スタディツアー	667,658円
ツアーなど参加費他	146,354円	東北3県生協へのくらし応援募金	300,000円
		防災・減災フェア	332,626円
		県内避難者買物支援	41,911円
		その他(真崎わかめ供給促進支援など)	32,040円
		小計	2,547,885円
		次期繰越金	3,323,787円
合計	5,871,672円	合計	5,871,672円

自治体との災害時物資協力協定

現在16市町との協定を締結し、大震災など災害が発生した場合、物資提供に迅速に取り組みます。



坂井市・あわら市・福井市・大野市・勝山市・鯖江市・越前市・敦賀市・小浜市・永平寺町・越前町・南越前町・美浜町・若狭町・おおい町・高浜町

九州北部豪雨緊急募金

九州北部をおそった豪雨において、7月8日～7月28日に緊急募金を行い、組合員の皆さまから122,947円の募金をお預かりしました。

お預かりした募金は、福井県共同募金会及び日本生活協同組合連合会を通じて被災地に送付させていただきました。



火災・雪害と対応

6月に発生したハーツさばえの火災、2月の雪害では組合員の皆さまに大変なご迷惑をおかけしました。再発防止のために月次で対策会議を開催し、事業継続計画の再構築を進めました。



11

地球温暖化対策・エネルギー対策

～温室効果ガス削減対策～



福井県民生協は、環境の取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、組合員や地域社会の皆さんと共に、持続可能な循環型社会の実現を目指します。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かな暮らしと地球環境保全の実現を目指します。

温暖化防止自主行動計画

2005年度より、温暖化防止自主行動計画を定め、CO₂の排出抑制に努めています。しかしながら、店舗や福祉施設の増加により、生協全体でのCO₂排出量は増加しています。2017年度は店舗のベース照明のLED化など、施設の省エネ対策により削減を進めました。今後は、自然エネルギーの導入などの調査研究を行ってまいります。(電気のCO₂の排出係数は、暫定数として0.423を使用しています)

CO ₂ 排出量	実績			計画
	2005年度	2016年度	2017年度	2020年度
店舗CO ₂ 排出量	2,624t	5,382t	5,141t	6,200t
宅配CO ₂ 排出量	1,028t	901t	816t	800t
福祉CO ₂ 排出量	95t	781t	1,081t	800t
本部CO ₂ 排出量	209t	132t	149t	120t
物流CO ₂ 排出量	0t	71t	164t	80t
全体CO ₂ 排出量	3,956t	7,267t	7,351t	8,000t
(2005年度比)	100.0%	183.7%	185.8%	202.2%
カーボンオフセット	0t	▲154t	0t	0t
調整後CO ₂ 排出量	3,956t	7,113t	7,351t	8,000t

太陽光発電システムの設置拡大

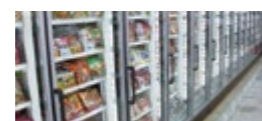
固定価格買取制度(FIT: Feed-inTariff)を活用し、自然エネルギー発電の普及を進めています。発電規模は16ヶ所で2,358kWとなりました。



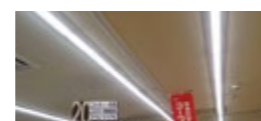
生協グループの発電設備 (16ヶ所 2,358kW)		※2018年4月現在
・丸岡物流センター(坂井市) 350kW	・丸岡物流センター(増設) 100kW	・丸岡学園(福井市) 55kW
・本部センター(福井市) 30kW	・嶺北センター(福井市) 273kW	・ハーツ志比口(福井市) 55kW
・丹南センター(鯖江市) 55kW	・敦賀支所(敦賀市) 55kW	・ハーツさばえ(鯖江市) 55kW
・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・ハーツたけふ(越前市) 55kW
・ハーツ羽水(福井市) 55kW	・ハーツ羽水(福井市) 55kW	・ハーツつるが(敦賀市) 55kW
		・ハーツわかさ(小浜市) 55kW
		・第2生鮮加工センター(福井市) 55kW
		・その他(福井市) 1,000kW

ハーツの省エネ対策

ハーツ全店でデマンドシステムやBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入し、省エネと省コストの実現を図りました。運用改善では、季節ごとの空調・ショーケースのこまめな設定変更やショーケースの照明カット、ショーケースや室外機の清掃やナイトカバーの徹底による夜間電力の低減などを進めました。



リーチインショーケース (ハーツさばえ)



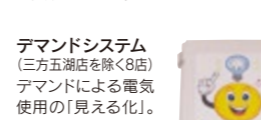
ベース照明LED
ハーツ全店でベース照明のLED化を実現しました。



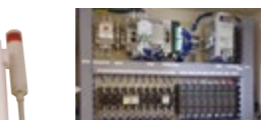
デュアルインショーケース (ハーツわかさ)



セラミックタイル
セラミックタイルは光の反射により店内を明るく見せることができます。



デマンドシステム
(三方五湖店を除く8店)
デマンドによる電気使用の「見える化」。職員意識を高めています。



BEMS(ハーツはるえ)
店舗のショーケースを自動管理するエネルギー管理システムBEMS。

12

3Rの推進

～循環型社会の構築に向けて～



エコセンターの開設

組合員や事業所から出てくる紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。県民せいきょうグループ「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



丸岡の物流センター内に施設を建て、物流便の戻り便を活用しています。



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っていきます。異物などは職員の手で取り除きます。

福井県民生協で回収している資源とリサイクル品	
ダンボール	紙製品
新聞紙 新聞折込チラシ	新聞紙など
注文書(コープファミリー等)	注文書
飲料用紙パック	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	プラスチック製品
ペットボトル	ペット素材の原料
卵パック	プラスチック製品
発泡トレイ	プラスチック製品
アルミ付紙パック エコキャップ	原料
小型家電	原料
天ぷら油(廃食油)	飼料や石けん

2017年度エコセンター回収実績

注文書	1,848,081kg
ダンボール	623,682kg
新聞紙	149,787kg
プラスチック類	66,442kg

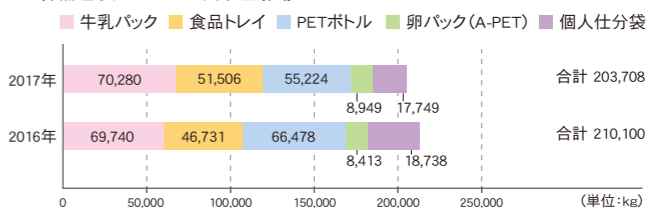
容器包装リサイクル (ハーツ店頭回収・コープの宅配配送時回収)

地域の再生資源の回収拠点として県内小売の中でも最もたくさんの容器包装を回収しています。



リサイクルBOX

容器包装リサイクル回収量推移



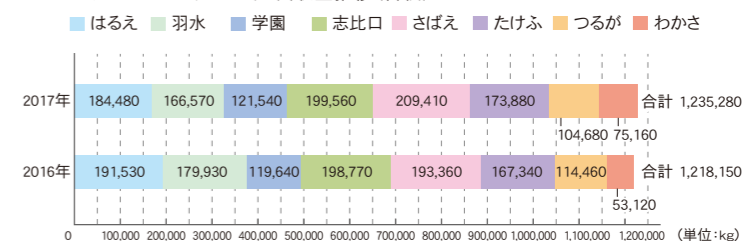
リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑紙)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。

2017年度(2017年4月～2018年3月)

古紙	1,235,280kg回収
廃食油	14,491kg回収

リサイクルステーション回収量推移(古紙)



食品リサイクルの取り組み

毎日発生する食品廃棄物を再利用するリサイクルループの取り組みを行っています。

堆肥化率

	2016年	2017年	前年比
はるえ	81.9%	79.1%	96.6%
羽水	79.8%	73.1%	91.6%
学園	65.3%	77.1%	118.1%
志比口	86.1%	80.0%	92.9%
さばえ	71.6%	72.3%	101.0%
つるが	75.0%	73.3%	97.7%
全店平均	76.6%	75.8%	99.0%

※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていません。





人財育成

～職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりへ～



組合員の笑顔やありがとうの言葉に喜びを感じる中で、考え、学び、行動できる人財を育てていくために、教育の仕組みづくりや、傾聴、感謝、褒める、祝うといった組織風土づくりを積極的に進めています。

学び育む教育制度

入社からキャリアアップまで階層ごとに教育プログラムを作成し、職員一人ひとりに応じた教育制度を行っています。職員の「学びたい」ニーズに応え、職人の自己啓発支援を行っています。

学び育む教育制度



創発と共創を促す組織風土

- 職員ニーズの把握
自己申告書・職員満足度調査
褒め認め合う組織づくり
マイスター制度・各種表彰制度・アイデア提案制度・仕事品質向上活動
役員懇談会の実施

経営品質の取り組み、アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善

〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足の向上につなげる提案制度で、年間5千件以上の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、部内報で共有しています。他の事業所でも好事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上活動～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。2017年度は120チームが取り組み、16チームが表彰されました。ノーベル仕事品質賞(金賞)に選ばれたのは若狭支所の「配達担当者の事務処理効率化と6S」の取り組みです。



▲2017年度ノーベル仕事品質賞受賞チーム

2017年度ノーベル仕事品質賞

- 金賞: なかよし若狭(若狭支所)
「配達担当者の事務処理効率化と6S」
銀賞: 大塚チーム(丹南センター)
「組合員の声を広げ、生協ファンを増やそう」
銅賞: しひぐっち(ハーツきっぷ志比口)
「現場づくりを通して親育ち」

Table with 4 columns: 16年度, 17年度, 前年比, and rows for business improvement awards, idea proposals, and quality activities.



働きやすい職場環境づくり

～仕事と家庭を両立しながら、女性がイキイキと働ける職場に～



次世代育成支援推進法に則り、次世代育成支援や女性の働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりを目指していきます。

働きやすい職場環境づくり

- 仕事と家庭の両立支援制度では、育児休暇制度として、ベビー休暇制度(男性の育児休暇)の推進や、一時パート制度があります。また、企業内託児制度によって、育児と仕事の両立を支援しています。
心と体の健康維持・増進活動や、女性のキャリア形成支援、多様な働き方に対応できる雇用フレーム(地域制限職員、職種制限職員)などの支援も行っています。
共済会へふでは、職員の交流企画や各種助成制度、団体旅行などを行っています。

ワークライフバランス

2016年度4月より施行された「女性活躍推進法」に定める行動計画も組み込み、仕事と家庭の両立や働きやすさ、仕事のやりがいなどを醸成する政策など計画化して労働安全衛生の維持向上・女性の活躍支援・障がい者雇用・高齢者雇用・家族と仕事の両立が可能な働きやすい環境整備・所定外労働時間の削減・有給取得などに取り組みました。

女性活躍推進法「えるぼし」に北陸初認定

女性の活躍を推進している企業として厚生労働省から「北陸初」となる認定を受けました。



県内2企業目 新基準になり初! プラチナくるみん認定企業に認定

「プラチナくるみん」認定は、くるみん認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業が受けることができる認定です。この度、新基準となってから初のプラチナくるみん認定企業として認定されました。また当生協は、2016年4月1日より施行されている女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)で最高位の認定も受けており、プラチナくるみん認定とえるぼし認定三段階目の2つの認定を取得した企業は北陸では初となります。



▲(写真左)福井労働局 早木 武夫局長 (写真右)福井県民生活協同組合 竹生 正人事理長

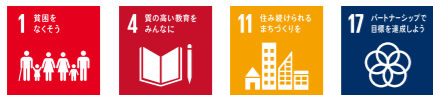
Table with 4 columns: 16年度, 17年度, 前年比, and rows for Kurumin events and participants.

Table with 4 columns: 16年度, 17年度, 前年比, and rows for female management ratios and paid leave rates.



地域へのお役立ち

～地域とのつながりを大切に
安全・安心な地域づくりを応援～



県民せいきょうでは地域、組合員のくらしの状況に応じて、事業ネットワークを推進し、組合員と地域へのお役立ちを高めます。また、自治体や地域団体との連携強化で、地域に役立ち、感謝される組織を目指します。

項目	16年度	17年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	246件	269件	109.3%

生活困窮者のための食料支援

2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、福井県社会福祉協議会を通じて年3回寄付しています。生活困窮者や児童養護施設に提供されます。(フードバンク)2016年からは、子ども食堂に取り組み団体への食材提供も行っています。

項目	回数	数量	金額
福井県社会福祉協議会(フードバンク)	3回	2,371点	485,930円
子ども食堂(ひまわりキッチン)	11回	361点	81,931円
合計	14回	2,732点	567,861円



国体・障スポを応援

2018年度開催の『福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会』の趣旨賛同オフィシャルサポーターとして寄付を行いました。健康長寿な福井づくりを応援します。



学校教育・職場体験受入

ハーツやきらめき、ハーツきつずなど、小中学生や高校生など、社会見学や職場体験、インターンシップを積極的に受けています。



子どものスポーツ活動支援

地元サッカーチーム「サウルコス福井」と「サウルコスと遊ぼう」を2016年より実施し、2017年度は6会場で開催し、健全な子どもの育成支援に取り組まれました。



県幼児画コンクールへの協賛

県内の幼稚園・保育園が参加する幼児画コンクールに2016年より協賛し、幼児の情操教育への支援に取り組んでいます。



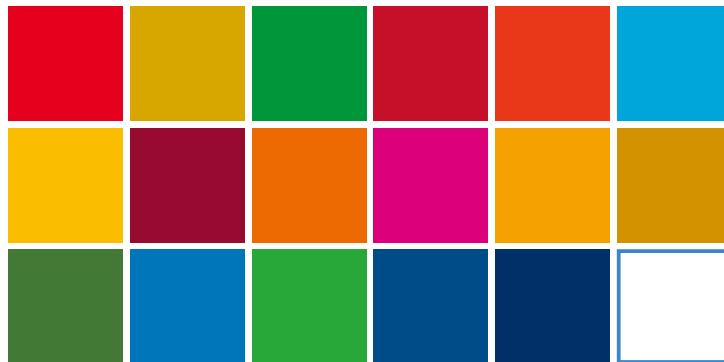
生協ボランティアセンターの新設

レインボーファーム応援団やきらめき応援団など生協が推進するボランティアの窓口を一元化しました。また、アクティブシニア展のボランティア活動参加促進として福井市総合ボランティアセンターと共催で男のシニア達人塾を開催しました。



地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機関名	役職名
食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員
	福井県農林水産加工事業推進会議	委員
	厳選・ふくいの味認証委員会	副委員長
	ふくい健康美食惣菜版基準等検討委員会	委員
	福井県 新地鶏推進協議会	会員(提供店)
	北陸農政局総合化事業計画及び研究開発・成果利用事業計画認定審査委員	委員
	福井県特定鳥獣保護管理計画(いのしし・サル)検討委員会	委員
	福井県森林審議会	委員
	福井県卸売市場審議会	委員
	福井県国土利用計画審議会	委員
福祉介護	福井市食育推進会議	委員
	元気さばえ食育推進会議	委員
	ふくい地産地消をすすめる会	6次商品化開発、販売開拓部会、地産地消交流部会
	福井県社会福祉協議会	評議員
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長
	勝山市介護予防・生活支援サービス協議体	委員
	大野市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前町介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
環境	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員
	敦賀市介護認定審査会	委員
	大関まちづくり協議会	いきいきフレンドリー部会委員
	全国地域包括ケアシステム連絡会	理事
	環境ふくい推進協議会	副委員長、育成支援部会長
	福井市環境推進会議	監事
ボランティア	福井市くらしと環境をよくする会	企画委員、委員
	福井市廃棄物減量推進会議	委員
	鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	鯖江市環境まちづくり委員会	委員
	つるが環境みらいネットワーク	委員
	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	運営委員
	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	労働	福井県労働者福祉協議会
公益財団法人 福井県労働者福祉基金協会		理事、評議員
一般財団法人 福井県労働者信用基金協会		評議員
男女共同参画	福井市男女共同参画ネットワーク	委員
	さばえ男女共同参画ネットワーク	委員
	つるが男女共同参画ネットワーク	副会長
	敦賀市男女共同参画策定委員会	委員
経営	小浜男女共同参画ネットワーク	理事
	福井経済同友会	幹事
	福井商工会議所	議員
その他	一般社団法人 福井県経営品質協議会	副会長、運営委員
	福井市子ども・子育て審議会	委員
	青少年健全育成敦賀市民会議	委員
	福井県日本中国友好協会	参与
	福井県協同組合連絡会	構成員




COOP 県民せいきょう

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

お問い合わせ
コールセンター

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

 **0120-016-165**

【受付時間】 月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時

※受付時間外は、音声ガイドにて、
お問い合わせの受付と、緊急時の
連絡先をご案内しています。

●ホームページ

県民せいきょう

検索



県民せいきょう
Facebook

